

海外派遣留学生  
留学報告書  
中国・北京大学

学部学科・研究科専攻	観光学部・観光学科		留学時学年	2年
留学先	国	中国	大学/機関	北京大学
期間	2025年8月3日 ~ 2025年8月31日			
	短期		計28日間	

### [1] 参加したコースの時間数と時間割

・科目名（受講した科目を全てご記載ください）：

【時間割】

時間	月	火	水	木	金	土	日
8時~12時	○	○	○	○	○	なし	なし
14時~15時30分	なし	なし	なし	○	なし	なし	なし

### [2] クラス編成や授業方法について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

私のクラスは初級C。他に初級のクラスはABあり、合計3つ。他に、拼音から学ぶクラスと、私のクラスを挟んで、1つ上の中級、さらに上の高級があった。

最初11人 最後8人 最大時13人（ロシアから来た学生と滞在時間が異なっていたため）ロシア人が5人、オランダ人が1人、オーストラリア人が1人、日本人が6人。

授業は2部に分かれていて、それぞれ先生が1人ずつ。教科書もそれぞれ1冊ずつ。

木曜日のみ開催される授業は、北京大学の有名な講師が英語をメインとして授業を行ってくれるという任意の授業があった。

### [3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

毎週土曜日に北京大学がバスで有名な観光地へ連れて行ってくれるツアーがあった。任意の参加だがほとんどの学生が参加したと思われる。また、平日の授業は毎日午前中で終了するため、お昼を学食や近辺の飲食店で食べた後に、各々好きな観光地やショッピングセンターなどに行きリフレッシュしていた。

### [4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。（図書館、学生会館、スポーツ施設等）

強いてあげるならば、連日の授業で使用している留学生のための棟を頻繁に利用していた。

## [5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

**部屋：**1部屋 2人で使用

**様子：**廊下からまず鍵を開けると共同スペースのような空間があり、シャワーとトイレや洗面台は共同に使用した。共同スペースから鍵のついた扉が2つあり、その先に個人スペースがある。ベッドや勉強机クローゼットや電気ポットがあった。個人スペースにのみエアコンが設備されている。冷蔵庫は無い。テレビもない。洗濯機は寮の中に計6台あったと記憶している。乾燥機はほとんど使わず、6階にある共同の物干しスペースで乾かしていた。洗濯機を使用する際に中国の電話番号が必要のため、SIMを入れ替える必要がある。共同スペースにあるトイレは洋式だが、トイレットペーパーは流せない。持参する必要がある。コンセントはベッドサイドに1つと勉強機の隣に1つあった。個人スペースの扉の裏に全身鏡が付いていた。6階の私の部屋にはベランダの空間があり、侵入できなかったが、4階で生活していた友人の部屋は、その分空きスペースになっていた。窓は1つだけで開閉は自由。週に3回掃除をしてくださる方が入ってくる。個人スペースには入ってこない。共同スペースやトイレの掃除のみ。そのため共同スペースにはものを一切置いていなかった。

## [6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

### ● 楽しかったこと：

- ・思った以上に自由な時間が多く、頻繁に買い物に出かけたり飲食店でご飯を食べることができた。また、飲食店には100%の確率で座席にQRコードがあり、それをWeChatかアリペイで読み込んで、ゆっくりメニューを写真付きで見ながら注文することができたのが日本と違って便利だと思った。
- ・食べ物の値段が安すぎて好きなものを食べられた。食堂は広くて人もかなり多く、最初は混乱したが、慣れれば居心地が良かった。1番おいしかったのは牛肉麺。

### ● 苦労したこと：

- ・私たちが最初に空港でビザの件でトラブルが起きたのもこれに起因するが、英語を頑なに話してくれない人がいる。私の場合、空港の保安官にすべて中国語で起こり口調で言われ、「わからないから英語で話してくれ」と言ったが、無視された。これは最初にかなり心が折れた。他にも寮の受付の人など英語を使わない人が多く見られた。
- ・寮の部屋以外トイレがほぼ和式しかなく、匂いがかなりひどい。
- ・中国料理はかなり油が多く胃腸の疲れを感じていた。特に普段から生野菜を食べている人にとっては、冷たいものを口にしない中国の文化の料理を毎日食べていると、苦しさを感じると思う。
- ・急に土砂降りに見舞われることが多かった。

## [7] 留学の成果について教えてください

### 1) 語学力の向上：

今回の留学では、真面目に学ぶ姿勢を共有できる仲間とともに学んだことで、語学力の向上につながった。発音は大きな声で行い、分からないことはすぐに質問する。これが自然にできたのは、周囲の学生が皆同じように真剣に授業に向き合っていたからである。日本の授業では、スマートフォンを触ったり、授業中に会話をする学生が多く、その雰囲気は気持ちが引きずられることもあった。だが、ここでは「純粋に学びたい」という気持ちだけで授業に集中できたため、安心して積極的に言葉を使い、語学を吸収することができた。現在は、中国語検定やHSKに向けた準備を始めている。

## 2) 専門知識の向上：

私は将来、世界を広く見渡し、異文化を受け入れる心を持つ警察官になりたいと考えている。そのため、今回の留学では語学の学びに加え、治安や警察活動の在り方に強い関心を持って観察を行った。

中国では日本よりも格段に警察官とすれ違う頻度が高く、観光地の王府井では30秒に1度のペースで目にした。婦警の姿は少なかったが、検閲や警備といった役割で配置されていた。また、交番ではなくテントのような拠点で見張りをしている様子は、日本にはない形式であった。

日本では観光地において警察官とすれ違うことは稀であるが、中国のように巡回を増やすことは観光客の安心感につながり、無理な客引きや強引な販売手法の抑止にも有効であると感じた。今回の観察は、自分の夢と強く結びついた学びであり、将来の警察官像をより具体的に描ききっかけとなった。

## 3) 自己成長など

授業を通じて、真面目でいることを恥ずかしいと思わない環境に身を置けたことは、自分にとって大きな成長であった。先生は一人ひとりをしっかり見てくれ、少人数だからこそ学生同士も互いに理解し合えた。そのため、別れのときに寂しさを覚えた。普通の大学生活では、先生は学生を深く理解しようとすることに大きなエネルギーを割かず、クラスメイト同士も顔や名前さえ知らないことが多い。だが、この留学では「一期一会」という言葉を実感するほど、強い絆を感じる事ができた。

さらに、日本人・中国人を問わず、厳しい人は誰に対しても厳しく、優しい人は誰に対しても優しいと気づいた。相手がどこの国の人かよりも、人としてどう接するかが本質であることを学んだ。こうした体験を通じ、自分の中にある価値観が整理され、人との向き合い方がより成熟したと感じている。

また、渡航前に「留学中は毎日中国語で日記を書く」という目標を掲げ、これを達成することができた。後半にかけて、着実に辞書を引かずには書けるようになっていったことから、日々の積み重ねの大切さを学ぶとともに、目標に向かって継続することの難しさも感じた。私は今、警察官という夢に向けて、日々の学業に加えた通信教育と体力作りに苦しむ毎日だが、この留学で踏ん張れたことを自信にして、夢を掴んでいきたいと強く感じた。

## [8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

絶対に半ズボンと楽なデザイン性のないサンダルを持っていくべき。なぜなら、半ズボンは、和式のトイレの時に楽だから。シンプルなサンダルがあれば、土砂降りに見舞われても洗って干せばいいだけで楽だから。

空港の入国審査の紙や保安官と話をするときに、短期留学の人は「留学」と言ったり、書いたりしてはいけない。私たちは、このことに関して何も知らず、30日以内であるのにビザの発行が必要とされ、授業を1日休み公安局に行く羽目になった。

置いておくだけで、虫除けになるようなものを部屋に1つ置いておくべき。時期の手もあるが、かなり羽虫が多かった。虫をストレスに感じる人は要注意。

前述したサンダルだが、授業など外に行ける用サンダルとお風呂上がりに履く部屋用のスリッパを分けたほうがいい。さらに私は、お出かけ用のスニーカーも合わせて3足持っていった。帰りにサンダルを捨てて帰れば、荷物も負担にならず衛生的でお勧めしたい。

グループのリーダーとちゃんと連携を取るべき。緊急用の電話の持参は責任のある人がやるべき。

8月とはいっても、夜は冷えたり、雨の日はかなり肌寒さを感じたため、パーカーなど長袖は1枚持っていくべき。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

内訳		金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ 旅行会社に支払った経費(授業料、 フライト代他)	約 38 万
2	中期・長期留学者のみ フライト代	×
3	中期・長期留学者のみ 滞在費(寮費など)(短期でしたが、 これにプラスデポジットで一万円 でした)	約 11 万
4	教材費	不明
5	保険代	約 4 千円
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	約 5 万
7	個人的な買い物	約 3 万
8	その他( )	×
9	留学に関する費用(1 から 8 の合計)	61 万
10	受給した奨学金(奨学金 名: )	×
11	留学に関する費用総額(上記 9 から 10 を引いた額)	61 万

